山口県盲人福祉協会に
MUDカレンダーを
3年連続寄贈

2013年(平成25年)9月20日(金)　毎日新聞

点字カレンダー寄贈

県印刷工業組合 青年部が県盲人福祉協に

県印刷工業組合（下中原夏樹会長は「1年間手元に置いていただければ」とあいさつ。

関市長府扇町）青年部は19日、卓上点字カレンダー300部を県盲人福祉協会（同市関西町）に寄贈した。カレンダーは在宅視覚障害者や下関南総合支援学校など県内各施設に配用される。

寄贈は3回目。市上新地町＝は「祭日が分かりやすく、持ち運びもできるので便利で助かります」と話していた。

点字カレンダーの間祝日や曜日、また、色覚障害を使用して表示して点字で表示できる色別できる色、日、祝日

点字カレンダーを手にする舛尾理事長（左）と中原会長

たためという。市町別 続でJR和木駅周辺の 00円）で8・7%だ 町2の18

山口県印刷工業組合青年部は「9月印刷の月イベント」として
2013年9月19日 山口県盲人福祉協会に
MUDカレンダー300部を寄贈しました。

メディアユニバーサルデザインの点字カレンダー

やさしいCalendar 2014

2014年カレンダーのコンセプトは「点字を知ろう!」と題して1月から12月までの数字の横にその月の数字を表す点字を表記しております。点字を知るきっかけになればとの思いを込めてデザインしております。

どんな人にも公平に伝える

カレンダーとしての基本情報は高齢者、色覚障がい者、弱視者など全ての人に公平に伝えられるよう、文字は一番認識力に優れている黒1色で日祝祭日を表現しています。目の不自由な方にも使用していただけるよう透明インキで点字も入っています。

どんな人にも使いやすく

カレンダーの左右には月ごとにタブを設けています。これにより2枚一緒にめくってしまう事がなくなり、めくりやくい設計になっています。更に見たい月に簡単に移動することもできます。タブにも点字が印刷してあるので、目の不自由な方にも同じように利用していただけます。

印刷の月とは…　毎年9月は印刷の月と呼ばれています。これは、日本の活版印刷の先覚者である本木昌造先生の遺徳を偲び、各地で「印刷が情報・文化・生活価値を通じていかに社会に貢献しているかを社会に理解してもらう月間」として、各地で活動が行われています。

そこで、私たち山口県印刷工業組合青年部では、「すべての方に優しくわかりやすく」を合言葉に「情報が正しく伝わるように」とメディアユニバーサルデザインの普及と啓蒙活動を行っています。